

# 風水害 (洪水)

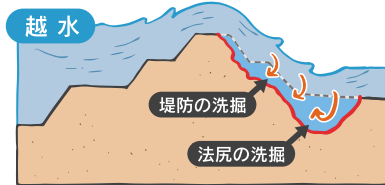
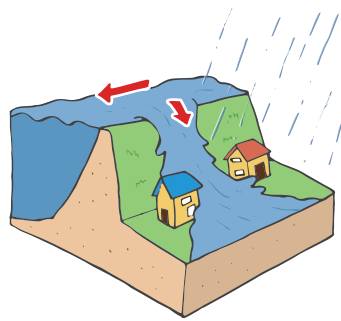
## 洪水発生メカニズム

洪水(外水はん濫)とは、豪雨によって河川の水量が急激に増加することにより、水が堤防を越えたり、堤防が崩れて住宅地や農地などに水があふれることです。この時、あふれた水によって家や車が押し流されるなど、浸水被害が発生します。

なお、堤防が崩れる場合は、越水、洗掘、浸透の3つの主な原因から生じます。

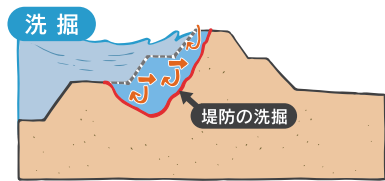
### 越水 (えっすい)

堤防から河川の水があふれ出ることを越水と言い、その水の流れにより堤防の裏の斜面が削られます。削られたところに水が流れ込むことで次第に堤防が弱くなり、崩れてしまいます。



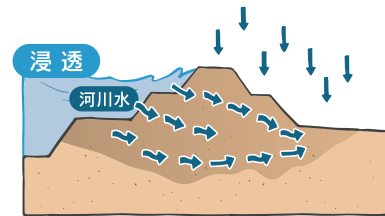
### 洗掘 (せんくつ)

河川の水の流れや勢いなどによって、堤防の表の斜面が削り取られることを洗掘と言います。削られたところに水が流れ込むことで次第に堤防が弱くなり、崩れてしまいます。



### 浸透 (しんとう)

河川の水位が高い場合、水圧によって堤防の裏の斜面から河川の水が漏れだし、堤防が浸食されることを浸透と言います。漏れだした箇所さらに水が流れ込むことによって拡大し、崩れてしまいます。



## 上板町における過去の水害

- 平成16年(2004年)の台風23号により、上板町では床上浸水2戸、床下浸水10戸、浸水区域673.2haの被害が発生しました。
- 県内の雨量観測所では、1時間に87mm、総雨量400~500mmを観測しました。



宮川内谷川 (板野町江川橋付近)



出典：平成16年台風23号による吉野川の出水状況 (徳島河川国道事務所資料)

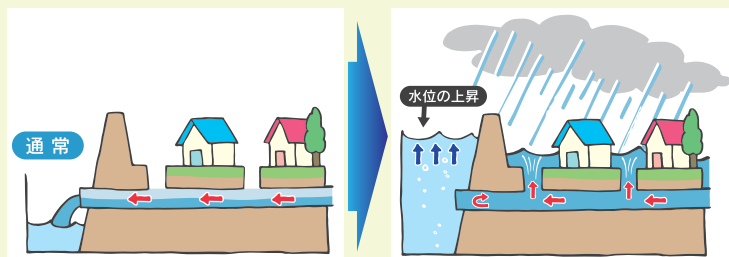
### 過去の最大降水量 (徳島)

1日降水量 **483.0 mm**  
(2011年9月20日)

1時間降水量 **90.5 mm**  
(2009年8月10日)

## 内水はん濫にも注意!

雨は、排水路などを通して川に排水されますが、大雨が降ると川の水位が上がると、排水されにくくなり、排水路があふれてしまいます。これを「内水はん濫」と言い、あふれた水が堤防の内側にたまって家屋や道路に浸水被害を及ぼします。



## 事前の備え

災害が起きた後だけではなく、起きる前にも日頃から備えをしておかなければなりません。普段の生活の中で、安全な避難先とルートを考えておきましょう。また、被害を抑えるため、台風や大雨が来る前に、あらかじめ家のまわりの点検・整備や簡易水防の作成を行うことが大切です。

### 安全な避難先とルートの確認



避難所までの経路は、あらかじめ自分たちで決めておきましょう。特に、はん濫しやすい小川や土砂災害の危険性のある土地などを考慮しましょう。また、実際に歩いて、安全に通行できるか確認しておきましょう。

### 家のまわりの点検・整備



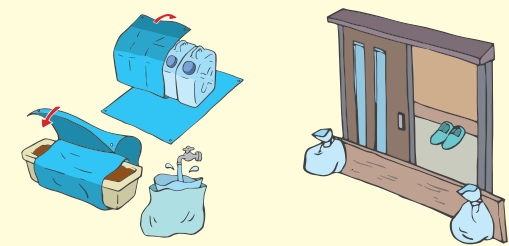
家の前の側溝が詰まっていないか確認し、水はけを良くしておきましょう。また、風で飛ばされる植木鉢やゴミ箱などは固定するか、家の中などに移動させておきましょう。窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要ならば外から板を打ち付けて補強しましょう。

### 非常持出品の事前準備



被害によっては、避難を余儀なくされることもあります。避難する時に持ち出す『非常持出品』を事前に準備し、チェックリストで確認しておきましょう。特に、常用薬など無くてはならないもので、他の人が持っていないものには注意が必要です。主な非常時持出品は次の通りです。

### 家庭でできる簡易水防の作成



浸水深が低いときは、家庭にあるものを使って、水の浸入を減少させることができます。大きめのごみ袋やポリタンク等に水を入れて水の侵入口となるところに並べたり、長めの板と土のうで臨時的止水壁を作ったりして、被害を抑える準備をしましょう。

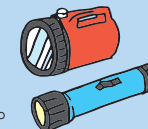
#### 飲料水

ペットボトル入りは持ち運びに便利。



#### 懐中電灯

停電時や夜間の避難には必需品。



#### 救急薬品

消毒薬やばんそうこうなど。持病のある人は常用薬も。



#### 非常食

調理せずに食べられる物。賞味期限をチェックして定期的に交換を。



#### 携帯ラジオ

F.M、A.Mの両方聴けるタイプを。予備の電池も忘れずに。



#### ヘルメット (防災ずきん)

飛来物や落下物、転倒事故から頭部を守るため。



#### その他

現金(公衆電話用の小銭も用意)、オイルライター、身分証明書のコピー、軍手、衣類など。

